

北陸新幹線敦賀以西の整備に関する決議

北陸新幹線は、複軸型国土を形成し、大規模災害において東海道新幹線の代替機能を果たす重要な国家プロジェクトである。

金沢・敦賀間については、敦賀までの1日も早い完成・開業に向け、用地取得や工事が着実に進められているが、新幹線などの高速交通機関は、終着地点まで整備が完成して初めて真の効果を発揮するものであることから、大阪までのフル規格による全線整備を早期に実現しなければならない。

敦賀以西ルートについては、今月10日の与党敦賀・大阪間整備検討委員会において、小浜・京都ルート（JR西日本提案）、舞鶴を經由するルート、米原ルートの3案にほぼ絞り込まれた。今後は国が5月末までに調査を開始し、その結果をもとに与党検討委員会がルートを決定的にすることとなっている。

小浜・京都ルートは、本県がこれまで主張してきた若狭ルートのひとつであり、旅客流動の多い北陸・関西間を直通し、時間短縮効果が大きく、県民の利便性の確保につながる。また、本県の産業や観光の振興にも大きく寄与するルートである。

については、小浜・京都ルートを年内に決定し、大阪までのフル規格による全線整備を早期に実現するよう強く求める。

また、小浜・京都ルートを決定したうえで、中京圏とのアクセスの向上策についても、検討するよう併せて要望する。

以上、決議する。

平成28年3月15日

福井県議会